

ロイヤル HD が双日と資本業務提携 – 直ちに格付に影響ないが財務構成や業績への効果を注視

以下は、ロイヤルホールディングス株式会社（証券コード：8179）が、双日株式会社（同：2768）との資本業務提携、第三者割当による新株式および新株予約権の発行を発表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は21年2月15日、双日（長期発行体格付「A-」）との資本業務提携に関する契約の締結、および双日を割当先とする第三者割当による普通株式100億円、新株予約権78億円の発行について決議したと公表した。普通株式の払込により当社に対する双日の議決権比率は13.3%となり、双日は当社の筆頭株主となる。本提携に伴い、当社の連結子会社であり機内食事業の中核であるロイヤルインフライトケイタリング株式会社（以下 RIC）は、当社および双日を割当先とする第三者割当による普通株式の発行を行う。併せて、主要取引行であるみずほ銀行など4行を割当先とする優先株式60億円を発行することも公表した。本件の調達資金は設備投資、借入金の返済、運転資金の確保に充当される予定である。
- (2) コロナ禍における厳しい事業環境を反映し、JCRは20年12月16日付で当社の長期発行体格付を「BBB+」から「BBB」とし、見通しを「ネガティブ」としている。21年1月に首都圏をはじめとする感染拡大地域に対して再発令された緊急事態宣言は、2月に延長が決定された。飲食店に対する営業時間短縮要請や地域間移動の停滞が続くなど、各事業は依然厳しい状況におかれている。
- (3) 20/12期は275億円の最終損失を計上、自己資本は前期末の508億円から減少し209億円となるなど、財務構成は大幅に悪化している。今般の資本増強は当社信用力の悪化に一定の歯止めをかける効果はある。また、当社の RIC への出資比率は40%に低下し連結範囲外となるが、インバウンド需要の回復時期がいまだ見通せない中では、リスクの拡大を食い止める効果もある。ただし事業環境に改善の兆しが見られない場合、これらの効果は限定的なものにとどまる可能性がある。そのため JCR は引き続き今後の需要動向を注視し、業績および財務基盤の回復動向を見定め、適宜格付に反映させていく。

(担当) 殿村 成信・石崎 美瑛

【参考】

発行体：ロイヤルホールディングス株式会社

長期発行体格付：BBB 見通し：ネガティブ

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル